

1月
長ねぎ

板橋ふれあい農園会給食だより

「板橋ふれあい農園会」とは、板橋区で農産物を作っている区内の農家の方の会です。学校に新鮮で安全な野菜などを届けてくださいます。

今回お届けする「長ねぎ」は山口賢治さん、染宮利章さん、石井規弘さん、木村繁夫さん、田中將浩さんを中心に作っていただきました。



板橋区食育キャラクター
「いたばちい」

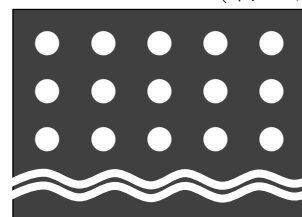
長ねぎの作り方について、山口賢治さんに取材しました！

1 種まき（3月上旬）

土の上に穴があいたシートを敷き、1つの穴につき8粒の種をまきます。これが成長すると苗になります。



山口さんが使用したシート
(イメージ)



幅 90cm のシートに、直径 8 cm の円が 15cm 間隔で 5 つあいています。

2 苗植え（4か月後の7月上旬）

小指程度の太さ、40～50cm ぐらいまで育った苗を畑に溝を作って4cm 間隔で植えます。

山口さんは今年約 400 本の苗を植えました。

3 土寄せ（9月から12月まで）

長ねぎの成長に合わせて、土をかけます。この作業を「土寄せ」といいます。

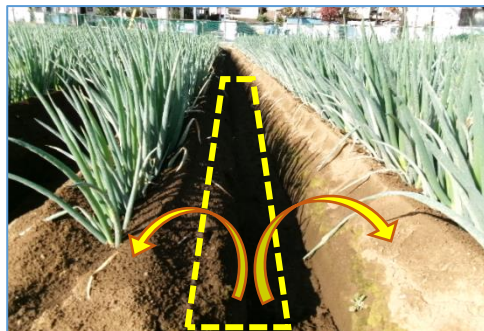
収穫までに、3週間ごとに4回行います。

12月2日の取材では、すでに3回土寄せをしていました。12月下旬に最後の土寄せをします。

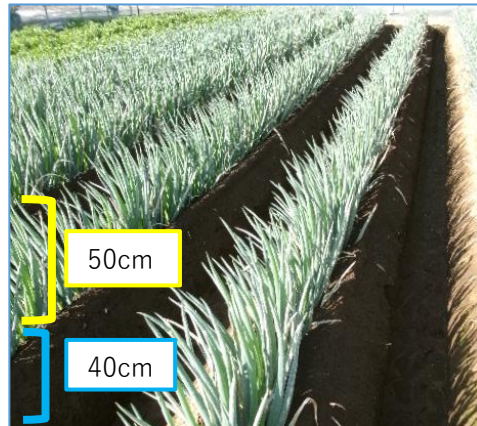
土をかけた日の当たらない部分が長ねぎの白い部分になります。



長ねぎが伸びた部分
この上部まで土を
かけます。



最初、溝（低い位置）に苗を植えますが、伸びて土寄せを繰り返すことで、写真のように土の凸凹が徐々に逆転します。



【12月2日 畑の様子】

4 収穫（1月）

鍬（くわ）で、長ねぎの周りの土を取り除いてから、収穫します。

そして、出荷前には長ねぎを一度むいてきれいにします。



山口賢治さん

今年は苗を植えた後に大雨が降りました。畑に雨水が溜まり、一部の苗が浮いてしまって植え直したこともありました。

11 か月間、時間と労力をかけて育てた長ねぎです。
おいしく食べてほしいです。